



安全データシート（SDS）

作成日 2017年3月1日
改訂日 2025年7月11日

1. 化学品及び会社情報		
製品名	湿式りん酸	
会社名	片倉コープアグリ株式会社	
住所	〒102-0073 東京都千代田区九段北1－8－10	
電話番号	03-5126-6617	
ファックス番号	03-5216-6643	
緊急連絡電話番号	03-5126-6617	
推奨用途及び使用上の制限	工業用	
2. 危険有害性の要約		
GHS分類		
物理化学的危険性		
爆発物	区分に該当しない	
可燃性ガス	区分に該当しない	
エアゾール	区分に該当しない	
酸化性ガス	区分に該当しない	
高压ガス	区分に該当しない	
引火性液体	区分に該当しない	
可燃性固体	区分に該当しない	
自己反応性化学品	区分に該当しない	
自然発火性液体	区分に該当しない	
自然発火性固体	区分に該当しない	
自己発熱性化学品	区分に該当しない	
水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
酸化性液体	区分に該当しない	
酸化性固体	分類できない	
有機過酸化物	区分に該当しない	
金属腐食性化学品	分類できない	
鈍性化爆発物	区分に該当しない	
健康に対する有害性		
急性毒性（経口）	区分 4	
急性毒性（経皮）	区分 4	
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない/分類できない	
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない/分類できない	
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分 3	
皮膚腐食性／刺激性	区分 1	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1	
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
生殖毒性・授乳影響	分類できない	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（呼吸器）	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない	
誤えん有害性	分類できない	
その他		
環境に対する有害性		
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3	
オゾン層への有害性	分類できない	
その他		

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）

注意喚起語

危険有害性情報

危険

金属腐食のおそれ

飲み込むと有害（経口）

皮膚に接触すると有害のおそれ（経皮）

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

吸入すると有害

呼吸器の障害

注意書き

安全対策

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。

ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

応急措置

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚又は毛に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱がせ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合、皮膚に付着した場合、吸入した場合、眼に入った場合は、直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い場合、医師の手当て、診断を受けること。

保管

耐腐食性のある容器に保管すること。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

廃棄

他の危険有害性

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

組成物質名	CAS登録番号	構造式	化審法番号	安衛法番号	含有量
りん酸	7664-38-2	H ₃ PO ₄	1-422	別表9 618	約50%
水	7732-18-5	H ₂ O	-	-	約50%

4．応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静、保温に努め、速やかに医師の手当を受ける。

直ちに汚染された衣服などを速やかに脱がし、製品に触れた部分を多量の水で洗浄する。

速やかに医師の手当を受ける。その場で痛みなどの症状が出なくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。

直ちに多量の水で15分間以上洗浄ののち、速やかに眼科医の手当を受ける。

洗浄の際は、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで、水がよく行きわたるように洗浄する。

コンタクトレンズを使用の場合、固着していない限り、取り除いて洗浄する。すぐに痛みが無く視力に影響がなくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。

水でよく口の中を洗浄し、速やかに医師の手当てを受ける。多量の水を飲ませ、希釈する。

無理に吐かせてはならない。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

嘔吐が起こる場合には、気管に入らないように身体を傾ける等注意する。

5．火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

この製品自体は燃焼しない。現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

情報なし

不燃性であるが、強熱されると加熱分解によりガス（りん酸化物）を発生する恐れがある。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火活動は風上から行い、適切な保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

6．漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	公共用水域に流出しないように留意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤で吸着させ回収する。 多量の場合は、盛土等で囲って流出を防止し、安全策を行ってから処理する。 回収物は密閉性のあるポリエチレン、塩化ビニル、ステンレス或いはゴムライニングされた容器に収納する。
二次災害の防止策	なし
7．取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	換気の良い場所で行い、許容濃度以下に保つようにする。
安全取扱い注意事項	取扱いの際には、適切な保護具を着用し、風上で作業する。 取扱い後は、使用した保護具、手、顔等をよく洗う。 製品容器は、破損につながる粗暴な取扱いをしないようにする。
接触回避	なし
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	乾燥した冷暗所に保管し、雨水、日光等が当たらないようにする。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、塩化ビニル、ステンレス或いはゴムライニングされた容器に保管する。（６０℃以下） 鉄、亜鉛メッキ、アルミ等は容器が腐食し、可燃性の水素ガスが発生するので使用しない。
8．ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	設定なし
許容濃度	
日本産衛学会(2023年版)	1 mg/m ³ （最大許容濃度）
A C G I H(2023年版)	TLV-TWA 1 mg/m3 TLV-STEL 3 mg/m3
設備対策	蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、許容濃度以下に保つような換気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具	
呼吸用保護具	マスク（酸性物質用）
手の保護具	適切な保護手袋（耐酸性ゴム手袋など）
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣（耐酸性ゴム手袋、エプロン、ブーツなど）、ゴム長靴
特別な注意事項	取扱い後は、使用した保護具、手、顔等をよく洗う。
9．物理的及び化学的性質	
物理的状態	液体
色	無色透明
臭い	無臭
融点・凝固点	-17.5℃（H ₃ PO ₄ 75%）
沸点又は初留点及び沸点範囲	135℃ （H ₃ PO ₄ 75%）
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	213℃以上で脱水
pH	1.5 （0.1N aq. ）
動粘性率	0.024Pa・s（20℃）
溶解度	水、エタノールに易溶
n-オクタノール／水分配係数（log値）	データなし
蒸気圧	799.9Pa（H ₃ PO ₄ 75%）
密度及び／又は相対密度	1.58g/cm3（H ₃ PO ₄ 75%）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他データ	データなし

1 0．安定性及び反応性		
反応性	アルカリ性物質と反応する。鉄、アルミニウムなどの金属を腐食し、可燃性の水素ガスを発生する。	
化学的安定性	常温では化学的に安定であるが、350℃以上になれば殆どの金属物質と反応し水素ガスを発生する。 凝固点以下で条件によっては固化する可能性がある。	
危険有害反応可能性	データなし	
避けるべき条件	データなし	
混触危険物質	金属類	
危険有害な分解生成物	りん酸化物、水素ガス	
1 1．有害性情報		
急性毒性	実施例は、りん酸 1 0 0 %換算	
経口	ラット LD50 1,530mg/kg	
経皮	ウサギ LD50 2,740mg/kg	
吸入：気体	データなし	
吸入：蒸気	データなし	
吸入：粉じん、ミスト	ラット LC50 3,846mg/m³	
皮膚腐食性／刺激性	pH1.5（0.1N aq.）の強酸であるため、腐食を生じる。 ウサギ 595mg/24Hr	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギ 119mg	
呼吸器感作性	データなし	
皮膚感作性	データなし	
生殖細胞変異原性	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性・授乳影響	データなし	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	吸入による重度のばく露で嘔声、呼吸困難、喘鳴（喉頭浮腫による）、最も深刻なケースでは非心原性肺水腫を引き起こす場合がある。	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし	
誤えん有害性	データなし	
その他	データなし	
1 2．環境影響情報		
生態毒性		
水生環境有害性 短期（急性）	魚類（メダカ）の96時間LC50 = 75.1 mg/L (pH調整なし) (SIDS, 2011)	
残留性・分解性	データなし	
生態蓄積性	データなし	
土壌中の移動性	データなし	
オゾン層への有害性	データなし	
その他	データなし	
1 3．廃棄上の注意		
残余廃棄物	大量の水で希釈して排出する。p H値に注意のこと。 水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように充分留意する。 取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。 ソーダ灰と消石灰の溶液中に徐々に添加・中和後、沈殿濾過して、 残渣は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。	
汚染容器及び包装		
1 4．輸送上の注意		
国際規制		
国連番号	1805	
品名（国連輸送名）	PHOSPHORIC ACID,SOLUTION	
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	クラス8（腐食性物質）	
容器等級	Ⅲ	
国内規制		
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。	
航空規制情報	航空法の規定に従う。 航空法の規定に従う。	
陸上規制情報	非該当	
特別な安全上の対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。	

他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。	
1 5．適用法令	
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（規則別表第2） 皮膚刺激性有害物質（第594条の2）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	
毒物及び劇物取締法	
化審法	1-422
消防法	
大気汚染防止法	
水質汚濁防止法	排水規制物質、水素イオン濃度
水道法	
下水道法	
海洋汚染防止法	Z 類物質（施行令別表第1 有害液体物質）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物
船舶安全法	腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
航空法	腐食性物質（施行規則第194条）
その他	
1 6．その他の情報	
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をしてください。 全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。また、注意事項は、通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点をご配慮ください。 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。	